



学びの場から日々の訪問、地域への情報発信まで、今回もさまざまな場所で手ぬぐいが活躍しています。みんなで身につければ一体感が生まれ、利用者さんとの間には懐かしい思い出や笑顔が生まれる。手ぬぐいを通して、訪問看護を「知る人」「届ける人」「支える人」の輪が広がっている、各地の取り組みをご紹介します。

01 宮城県看護協会 訪問看護総合センター 様（宮城県）



みんなでe-ラーニング
がんばるぞう!!!

今年度も始まった訪問看護師養成講習会（eラーニング）（ナースセンター主催）の開校式。受講者は現役の訪問看護師8名、訪問看護に興味のある医療機関看護師8名。集合研修では「在宅での療養を可能にする訪問看護師の役割」と題しステーション所長より講義を受けた。その後、訪問看護財団について紹介し訪問看護強化月間、「手ぬぐいPR作戦」について紹介した。現役の訪問看護師たちには日々の訪問看護で活用すること、他の看護師たちにもeラーニングの勉強にはハチマキとして気合を入れてもらうことをお願いした。

グループワークに入る前に各グループで趣向を凝らした使い方で記念撮影を行った。



今後も各協会立ステーションで行う保健室活動や、地域のイベント参加時活用（9月以降に地域のお祭りが予定されています）予定です。

02 青戸訪問看護ステーション 様（東京都）



研修参加の皆さまとパシャリ

弊社事務所で、弊社主催の多職種多事業所が参加の研修。研修実施時に、「手ぬぐいPR作戦」をPRして、弊社SNSにも掲載しました！なぜ手ぬぐいだったのだろう？と少し話題になりました。

03 みなみ東京訪問看護ステーション 様（東京都）



手ぬぐい使ってストレッチ

手ぬぐいをスタッフへ配布し、日々の訪問時に携帯しました。利用者様とのコミュニケーションのきっかけとして活用し「訪問看護をもっと身近に感じてもらう」取り組みとして効果的でした。社外報のセルフトレーニング紹介ページにて、手ぬぐいを使った運動の写真と解説を掲載しました。社外報は、利用者様・ご家族、地域包括支援センター、医療機関等へ8月より配布予定であり、訪問看護の理解促進とセルフケアの普及に寄与する内容となっています。

04 中津山 智恵 様（岩手県）



外でストレッチ！次の訪問も笑顔に。

訪問車に手ぬぐいを常備。訪問の合間にストレッチして次の訪問も笑顔で行くことができました。

今後も参加させていただきたいです。応募期間過ぎてしまい申し訳ございませんでした。

05 橘 真美 様（大阪府）



訪問看護ステーションまきのです。

日々の訪問時の暑さ対策に使用してもらいました。汗拭きや、保冷剤を巻いて使用したり、「手ぬぐいの良さ」を実感できました。利用者さんからも、「良い手ぬぐいね。昔使ってたことを思い出すわ」と昔を思い出してもらったきっかけの話題につながることもありました。

スタッフみんなで、手ぬぐいPR作戦を楽しんでいきたいと思っています。

とてもいい企画に参加させていただきありがとうございました。

♪風に乗って 広がれ訪問看護♪



手ぬぐいを首に巻き熱中症対策!!

この度は貴重な普及活動に参加させていただきありがとうございました。外回りで働く訪問看護師の私たちにとって、軽くて吸水性のある手ぬぐいは日々欠かせないものです。手ぬぐいを通して利用者さんとの話題も増えて笑顔につながりました。訪問看護の楽しさ、良さが広がって、利用者さんだけでなく、一緒に働く仲間が1人でも増えるきっかけになればいいなと思います。また今後も参加させていただけたら幸いです。

「なぜ、手ぬぐい？」

実は、NHK朝の連続テレビ小説『風、薫る』の原案作品『明治のナイチンゲール 大関和物語』には、派出看護婦会の看護婦が営業に出かける場面で、「手ぬぐいを鞆に入れ」という一節があります。

そこから着想を得て、暮らしに身近で、訪問の現場でも役立ち、会話のきっかけにもなる――

そんな「使えて、話せて、つながれる」アイテムとして、手ぬぐいを選びました！

手ぬぐいとともに全国へ広がった“訪問看護の風”は、これからも続いていきます。皆さまの工夫と行動に心より感謝するとともに、これから届く活動報告も楽しみにお待ちしております。



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

